

一般社団法人日本老年看護学会  
令和5年度社員総会議事録

- I. 日 時 令和5年6月9日(金) 18:00~19:00  
II. 会 場 一般社団法人日本老年看護学会事務センター  
(〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 ワールドプランニング会議室)  
および Zoom による Web 開催  
III. 司 会 湯浅美千代副理事長  
IV. 書 記 江頭麻衣子(事務センター), 鳥田美紀代理事  
V. 議事録署名人: 正木治恵理事長, 坂井志麻理事

- VI. 社員数 議決権を有する社員数: 88名  
議決権行使書: 54名  
委任状: 27名  
未回答: 7名

1. 開催について

- ・湯浅副理事長より議決権を有する社委員数 88 名中, 議決権行使書と委任状提出者を合わせて過半数となったため, 定款第 17 条に則り, 本社員総会の成立が宣言された。また, 定款第 16 条に則り, 議長は正木理事長となることが説明された。
- ・正木理事長より, COVID-19 の感染収束に伴い, ニューノーマルな社会である「超高齢化社会」で当学会の果たす役割について, 今後, 協働し, 広く発信していきたい旨の挨拶があった。
- ・定款第 22 条に則り, 議事録署名については正木理事長および坂井理事が務めることとした。

2. 報告事項

- 1) 理事会報告
- 2) 総務報告  
上記事項 1) ~2) について, 資料 1 を基に, 鳥田庶務担当理事より報告された。
- 3) 委員会等報告  
資料 2 を基に各委員会委員長より令和 4 年度の活動について報告された。
- 4) 学術集会報告
  - ・第 28 回学術集会について, 酒井郁子学術集会長より, 第 33 回日本老年学会総会との合同開催であり, 2023 年 6 月 16 日~18 日にパシフィコ横浜ノース(横浜)にて, 交流集会をメインとしたプログラムを対面で行うことと, 主要なプログラムは 8 月 31 日までオンデマンドにて配信を行う旨が報告された。
  - ・第 29 回学術集会について, 岡本充子学術集会長より, 2024 年 6 月 29 日~30 日に高知市文化プラザかるぼーと(高知)にて対面開催予定であることと, テーマは「老年看護のしんか」と決定した旨が報告された。
  - ・第 30 回学術集会について, 湯浅美千代学術集会長より第 34 回日本老年学会総会との合同開催であり, 開催地は幕張メッセ(千葉)である旨が報告された。

3. 議 題

- 1) 第 1 号議案: 令和 4 年度決算(案)および監査報告(承認 81 人, 不承認 0 人)
- 2) 第 2 号議案: 令和 5 年度事業計画(案)(承認 81 人, 不承認 0 人)
- 3) 第 3 号議案: 令和 5 年度予算(案)(承認 81 人, 不承認 0 人)
- 4) 第 4 号議案: 令和 6 年度事業計画基本方針(案)(承認 81 人, 不承認 0 人)
- 5) 第 5 号議案: 名誉会員の推薦(承認 81 人, 不承認 0 人)

上記第 1~5 号議案は, 定款第 17 条に定める過半数の出席と出席社員の過半数の同意の要件を満たし, 【承認】された。

4. 名誉会員挨拶

当社員総会にて承認された水野敏子名誉会員より, 挨拶があった。

## 5. 意見交換

正木理事長より、これまでの超高齢社会において、医療者は高齢者を支援する立場から、高齢者と共に社会を作り上げていく方向に変わってきている。当学会においてもその変化に伴い、新たな提言を検討している旨が報告された。その概要について、湯浅副理事長より、前期の理事会からの引継ぎ事項である「ロコモ・フレイル」をテーマとし、看護として具体的にできることをまとめた提言作成を進めたい旨が説明された。続いて、今後の学会活動について、次の通り意見があった。

- ・病院での看護の組織力の向上について、学会として支援していくのはどうか
- ・社会の信頼を得るような確かな活動をしていくべきではないか

## 6. 連絡事項

- 1) 代議員選挙の投票のお願い
- 2) 当学会への入会のお誘いおよび推薦について
- 3) IAGG-AOR, 第28回学術集会への参加について
- 4) 会員総会への出席について

湯浅副理事長より上記1)～4)について、説明がされた。

## 7. 閉会の辞

湯浅副理事長より、閉会の辞が述べられた。

以上

(議事録署名人)

理 事 長  
正 木 治 恵

---

理 事  
坂 井 志 麻

---